

いつでもどこでも、打ちたて東通そばの味

～ひがしどおり十割そば乾麺販売開始～

東通村が国・県の支援機関の協力のもと商品開発を進めてきた、そば乾麺「ひがしどおり十割そば」が、8月28日(日)より、東通村産業振興公社から発売されました。

商品コンセプトは、かっちゃん「技」「温もり」「想い」。地域に愛される商品を目指し、そばの生産者やそば街道まつり実行委員等の協力のもと作り上げました。そば乾麺は、東通そばと同じく小麦粉などのつなぎを一切使用しないそば粉100%。打ちたてのような風味が特長です。そばつゆは尻屋産昆布だしにこだわりました。

販売に先立ち、8月22日(月)に目名地区多目的集会施設「布名見の里」で村内外関係者を招き、お披露目会を実施しました。越善靖夫村長から、「このそば乾麺の発売を契機に、そばの更なる消費拡大と、村内農家の生産意欲の向上につなげたい」と、挨拶があった後、担当者より開発経緯や今後の展望について説明がなされました。試食した参加者は、「まるで手打ちそばのような食感で美味しい!」と、早速買い求めています。



十割そば乾麺への期待を述べる越善村長



「ひがしどおり十割そば」

「ひがしどおり十割そば」は、野牛川レストハウスやそばを扱う村内の飲食店、下北周辺観光施設等で販売される他、首都圏の物産展等でも扱われる予定。今後販売拡大に向けた取組が進められます。

ドライバー一人一人に交通安全を呼びかけ

～夏の交通安全運動「サマー作戦」～

夏の交通安全県民運動期間(7月21日～7月31日)の7月21日(木)、砂子又駐在所付近で、東通村交通安全対策協議会(会長・越善靖夫村長)が夏の交通安全運動「サマー作戦」を実施し、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

参加者は、村交通安全対策協議会役員、むつ警察署、村交通安全母の会連合会、むつ地区交通指導隊東通支隊など約40人。

運動に先立ち、越善村長より、「反射材の着用、早めのライト点灯、後部座席を含めた



越善村長も呼びかけに参加

すべての座席のシートベルト着用が重大な事故を防ぐこととなるため、啓蒙活動に尚一層のご協力をお願いします」と挨拶があり、参加者はドライバーへ交通安全グッズの配布や、シートベルト着用の看板を掲げるなどの活動を行いました。

また、6月17日(金)には小田野沢交通安全母の会が小田野沢地区で交通安全の呼びかけキャンペーンを行いました。

今後も村一丸となって啓発活動を行い、交通安全に取り組んでいきます。



シートベルト着用の看板